

ソーラーキット

ソーラーキット SC小屋裏ファンシステム

取扱説明書

お客さま用

もくじ

安全のために必ず守ること	2
はじめに	3
各部の名前	3
システムの機能	4
操作の目安	5
お手入れ・点検	6
故障かな?と思ったら	7
アフターサービス	8
主仕様	8

- この取扱説明書は、システムを正しく安全にお使いいただくために、ご理解いただきたいことを説明しておりますので、最後までよくお読みください。
- なお、ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

お客さま自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

■安全のために必ず守ること

・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、SC小屋裏ファンのスイッチを入・切しない 爆発・引火の原因。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●高温(40℃以上)や直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない 火災の原因。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店にご相談ください。 	 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中は危険ですから、SC小屋裏ファンの羽根の中に指や物をいれない けがの原因。
 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 <p>〈異常・故障例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則である。 (モーターはメンテナンスが必要な部品です。) ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付部に腐食・破損などがある。 <p>など ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。</p>	 風呂・シャワー室での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い場所では使用しない 感電・故障の原因。
		 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。 ●お手入れ後の部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。 ●お手入れの際は手袋を着用する けがの原因。 ●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
		 お願い	<ul style="list-style-type: none"> ●スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用)などを壁スイッチなどのプラスチック部分にかけないでください 部品の変質・破損の原因。

お願い

- 台風時など床下浸水が予想される場合には床下ダンパーを閉鎖してください。なお、床下ダンパーを閉鎖しても浸水を防ぐことはできません。
- 雪で床下ダンパーがふさがりような場合は、雪が浸入しないような処理をしてください。

■はじめに

ソーラーサーキット（略称：SC）は、建物に断熱性を付加するとともに、気密性と通気性という相反する機能を季節に応じて使い分ける「外断熱・二重通気工法」です。

SCは、冬季は断熱・気密構造による保温性、夏季は断熱・通気構造による遮熱・排熱性によって、日々の気候変化による屋内の温度変化をより穏やかにすることができます。

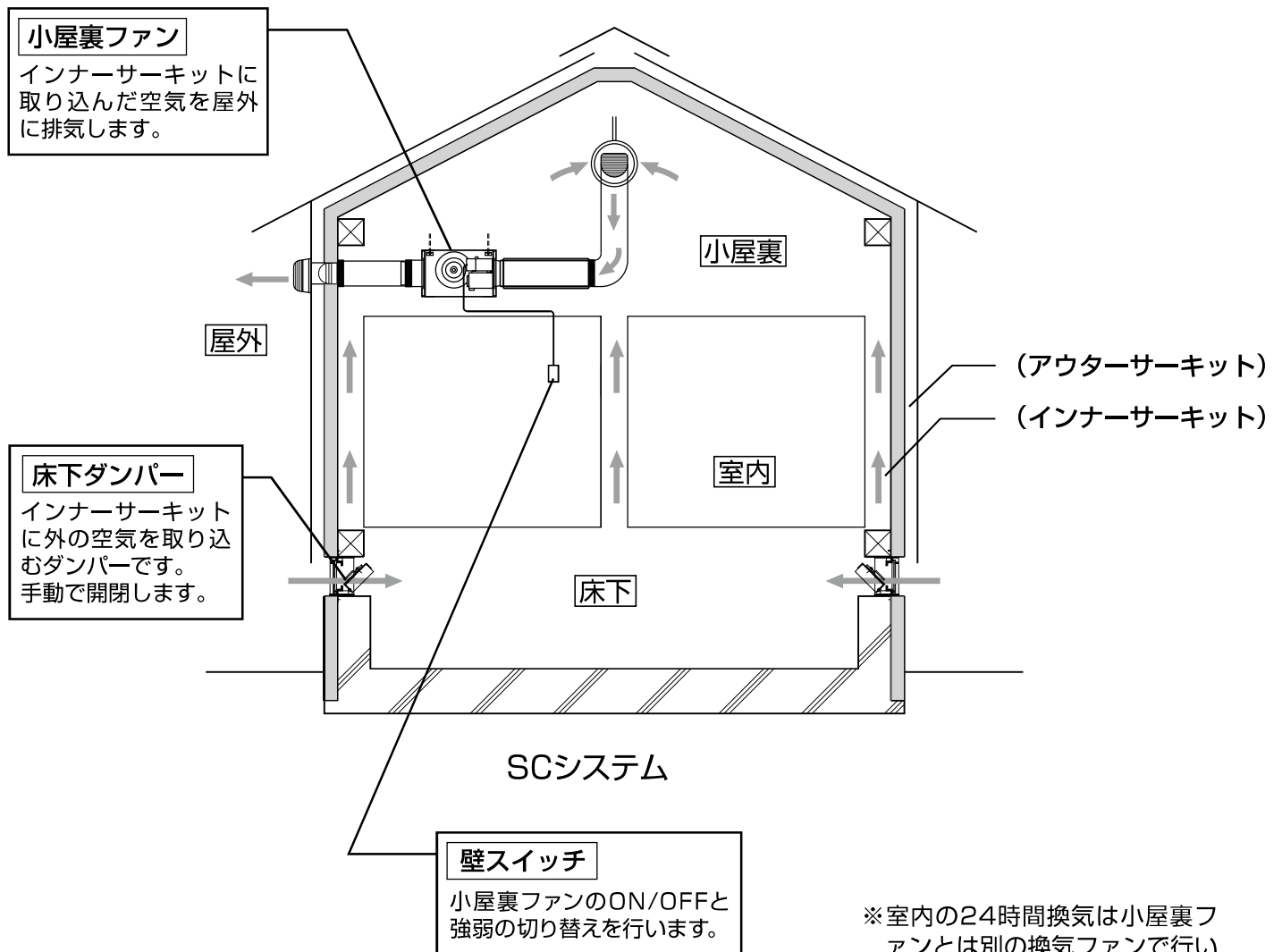
気密性と通気性を
使い分け

外断熱・二重通気工法

四季の気候変化に
あわせてダンパーを開閉

■各部の名前

（本書は通気システム部分の操作を説明しています）

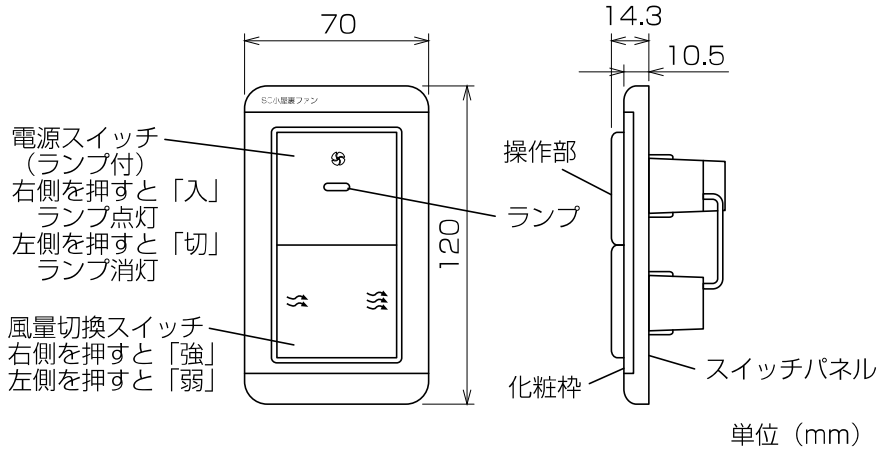


※室内の24時間換気は小屋裏ファンとは別の換気ファンで行います。（換気システムの取扱説明書をお読みください。）

■システムの機能

四季の気候変化に合わせて小屋裏ファンの運転や床下ダンパーの開閉を行い、寒いときには建物の気密性を高めて建物から熱が逃げるのを抑え、暑いときには通気性を高めて建物内部にこもった熱を排出します。

SC小屋裏ファン

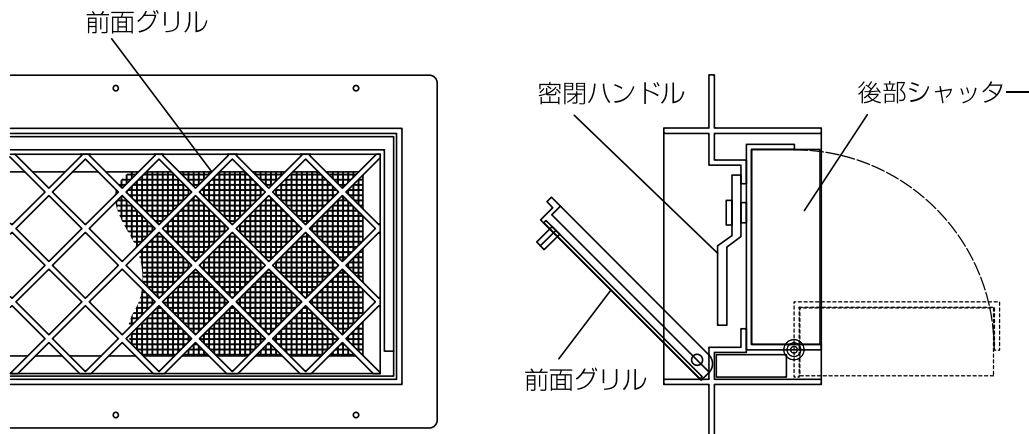


■仕様

電 源	AC100~300V
制御容量	0.1~4A
ランプ	「入」状態で点灯

※弱運転時に赤ランプが暗くなる場合がありますが、故障ではありません。

SC床下ダンパー



1. 前面グリルのつまみ（2ヶ所）を上を持ち上げながら手前に倒します。
2. 密閉ハンドル（2ヶ所）を左右にまわして後部シャッターを奥に押し倒します。
3. 密閉ハンドルは、シャッター開の時、遊びがありますがそのまま使用してください。
ネジの締め増しをしないでください。締め増しによって製品が壊れたり故障することがあります。
※グリルが汚れていると開きにくい時があります。時々ホコリ等を取り除いてください。
※開閉しづらい時は、何か挟まっているか部品が変形している可能性がありますので、無理に開閉せず工務店へご連絡ください。

以下のように季節の変化にあわせて、通気モードを切り替えます。

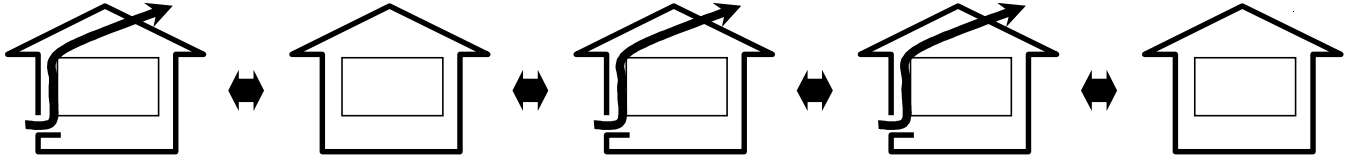
<p>(閉鎖モード) 建物の気密性を高める。</p> <p>小屋裏ファン 停止</p> <p>床下ダンパー 閉鎖</p>	<p>(開放モード) 床下から壁内、小屋裏の通気性を高める。</p> <p>小屋裏ファン 運転</p> <p>床下ダンパー 開放</p>
--	--

■操作の目安

季節の変化にあわせて、通気モードを切り替えてご使用ください。

以下に示す時期はあくまで目安です。切り替えの時期は建設地によって異なります。

初夏 (5月頃～)	梅雨 (6月頃～)	夏 (7月中旬～)	秋 (9月頃～)	晩秋・冬・春 (10月頃～)
--------------	--------------	--------------	-------------	-------------------



開放モード (ファン弱運転)	閉鎖モード (ファン停止)	開放モード (ファン強運転)	開放モード (ファン弱運転)	閉鎖モード (ファン停止)
昼間に暑さを感じるようになったら、床下ダンパーを開放、小屋裏ファンを弱運転します	梅雨入りのあと気温も低く不安定なので、床下ダンパーを閉鎖、小屋裏ファンを停止します	梅雨明けしたあと気温が上昇してくるので、床下ダンパーを開放、小屋裏ファンを強運転します	秋雨時期が過ぎたあと乾燥した外の外気を取りこみます。床下ダンパーを開放、小屋裏ファンを弱運転します	寒さを感じるようになったところ(目安外気20℃以下)床下ダンパーを閉鎖、小屋裏ファンを停止します

注意

- 停電時は、小屋裏ファン停止となりますが、通電後はその時の切替スイッチの状態に応じた運転となります。

上手にお使いいただくために

操作時期と考え方	通気モード
<ul style="list-style-type: none"> ●台風、雷雨で風雨が強いとき ●異常気象で長雨のとき ●濃霧、屋外の煙や悪臭が発生しているとき 	<p>閉鎖モード</p> <p>床下ダンパー閉鎖</p> <p>小屋裏ファン停止</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●小屋裏ファン動作点検時 	<p>開放モード</p> <p>床下ダンパー開放</p> <p>小屋裏ファン運転</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●建物完成後にコンクリートや建材などの乾燥を促すとき 	<p>開放モード</p> <p>床下ダンパー開放</p> <p>小屋裏ファン運転</p>

- 外気を取り入れたくないとき(台風・雷雨・濃霧時、近隣からの煙、悪臭、異常気象による長雨など)には、小屋裏ファンの電源をOFFにし床下ダンパーを閉鎖してください。
- 建物が完成してしばらくの間は、床下のコンクリートや室内の塗り壁などの乾燥に伴い、水蒸気の発生が多くなります。冬季を除き開放モードとして床下に湿気が滞留しないようにしてください。ただし長雨のときは閉鎖モードにしてエアコンの除湿機能や除湿機で室内の除湿をしてください。
- 台風時など床下浸水が予想される場合には小屋裏ファンを停止し、床下ダンパーを閉鎖してください。
- このシステムは建物の断熱による保温や遮熱、通気による排熱、乾燥を促すシステムであり、カビ、結露の発生を完全に排除することや、お客様個人の温冷感の快適性を保証するものではありません。暖冷房機器を必要に応じて併用してください。

■お手入れ・点検

SC小屋裏ファンの動作点検とあわせて、床下ダンパー、屋外フードの日常点検をお願いします。

警告

お手入れの際は、分電盤のブレーカーを切ってください（通電状態では感電やけがをすることがあります）。

注意

お手入れの際は、手袋を着用してください（着用しないとケガの原因となります）。

お手入れの際は、足元が不安定な状態で部品の着脱および清掃は行わないでください（転倒によりけがをすることがあります）。

お願い

- 床下ダンパー、小屋裏ファンのメンテナンスが可能な点検口の確保をお願いします。
- 塩害地域でご使用になる場合は、錆による部品交換が一般地域よりも多くなります。
- 長年ご使用の機器は、工務店に点検を依頼してください。

●小屋裏ファンの動作点検

（電源「入」時の動作確認）

初夏になって小屋裏ファンの電源を「入」にして、運転を開始した時は、以下の確認動作をお願いします。

1. 壁スイッチにて正常な運転ができますか？
2. 振動・異常音はありませんか？

メモ

- 「弱」で運転したとき、スイッチのランプの点灯が薄くなることはありますが、異常ではありません。
- 電源スイッチを「入」にしてから約10秒後にファンが運転して電源スイッチのランプが点灯します。約10秒の間に電源スイッチのランプが点灯（ファンが運転）/消灯（ファンが停止）しますが異常ではありません。

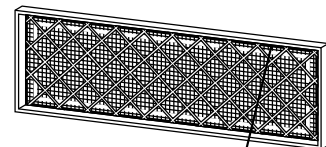
●床下ダンパーのお手入れのしかた

日常点検では、屋外のグリル部分（ステンレスメッシュの扉）に大きなごみや、多量のホコリが付着している場合、グリルの屋外面からやわらかい毛先のブラシなどで取り除きます。この際、小屋裏ファンの電源を「切」にして床下ダンパーを閉鎖し、多量のホコリが床下に入らないようにしてください。

お願い

気密部品の交換目安は5年です。工務店に依頼してください。

芝刈り機などを近くでお使いのときは、ゴミが噛みこまないよう床下ダンパーを閉鎖してください。
異物の噛みこみを発見したときは除去してください。
また高圧洗浄水によるお手入れは破損の原因となりますのでおやめください。



気密部品（黒色パッキン）

（図グリル部外観）

●小屋裏ファン（屋外フードのお手入れのしかた）

- 空気の吹出し部分をふさぐようなゴミが付着していたら取り除いてください。
- フードが高所に取付けられている場合は、工務店等へお手入れを依頼されることをおすすめします。

お願い

高圧洗浄水によるお手入れは破損の原因となりますのでおやめください。

温度ヒューズの点検・交換（防火ダンパーP-18DUT-KNを設置している場合）

防火ダンパーの設置有無はお買上げの販売店・工事店にご確認ください。
点検・交換はお買上げの販売店・工事店に依頼してください。

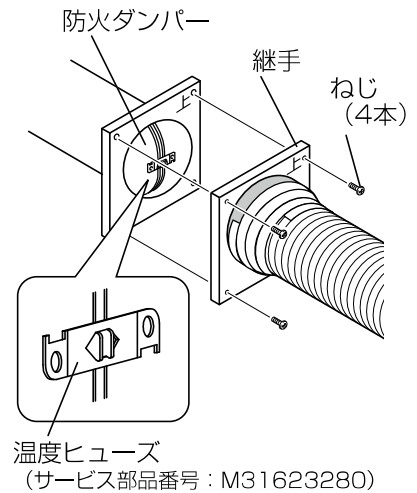
- 定期点検（1～2年程度）が必要です。
- 温度ヒューズは交換が必要な消耗品です。

※防火ダンパーはダクト配管からの延焼を防ぐ部品です。温度ヒューズは72℃以上で切れます。塩害地域、腐食性ガス・腐食性物質が発生する場所・地域では、著しく交換時期が短くなる可能性があります（1年以内）。

※温度ヒューズの表面に腐食が発生した場合は、温度ヒューズを交換してください。

●点検・交換の方法

1. ねじ4本をはずし、継手を取りはずす。
2. 両方のダンパーを指ではさみ、温度ヒューズを据付ける。
（はさみにくいときは、ラジオペンチ等を使用してください）
3. 継手を元通り据付ける。



■故障かな?と思ったら

次のような症状があれば点検してください。点検しても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ずブレーカーや小屋裏ファンの電源を切ってから直ちに建築を依頼した工務店にお申しつけください。

床下ダンパー

こんなとき	確認（原因）	処置
開閉しない。	（なにかが挟まっているか、閉鎖する部品が変形している可能性があります。）	工務店にご連絡ください。

小屋裏ファン

こんなとき	確認（原因）	処置
異常な動作音がある。	<ul style="list-style-type: none"> ●ファン内部にあるシャッターから、カラカラという音が聞こえるときがあります。 ●風が強いときにはファンがうなるような音が聞こえたり、屋外の排気フード近くに設置しているシャッターのパタパタという閉鎖音が聞こえるときがあります。 	違う音が聞こえる場合は、SC小屋裏ファンの電源を切りすぐに工務店にご連絡ください。
焦げ臭いにおいがする。	（電気系統に異常がある可能性があります。）	SC小屋裏ファンの電源を切りすぐに工務店にご連絡ください。

お願い

近くで落雷があったときは、6ページに記載の電源「入」時のシステム動作確認を行って異常がないか確認してください。

■アフターサービス

修理やお手入れのご相談やお問合せ

まず、建築を依頼した工務店へ、お申し付けください。

補修用性能部品の最低保有期間は

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後約6年です。
性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- 「■故障かな?と思ったら」(7ページ)にしたがってお調べください。
- 異常のあるときは、建築を依頼した工務店にご連絡ください。
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。修理料金は、技術料+部品代(出張料)などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容
 1. システム名: SC小屋裏ファン又はSC床下ダンパー
 2. 入居した時期:
 3. 故障内容(できるだけ具体的に):
 4. 住所・名前・電話番号・付近の目印など

■長年ご使用の機器の点検をお願いします。

こんな症状がある状態で使用してはいませんか?	<ul style="list-style-type: none">●電源コードに深いキズや変形がある。●こげ臭いにおいがする●ピリピリと電気を感じる●その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、ブレーカーを切ってから、必ず工務店に点検・修理をご相談ください。
------------------------	---	---	-------	---

お客様メモ	入居した時期	工務店名
	年 月 日	電話

■主仕様

●小屋裏ファン(本体)

形名	定格電圧・周波数	定格消費電力
SC-RF	AC100V 50-60Hz	50W

システム開発・資材供給

株式会社カネカソーラーサーキットのお家(カネカグループ)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目3番3号 内幸町ダイビル

TEL(03)5574-8139 FAX(03)3580-9100

<http://www.schs.co.jp>